

平成25年
9月定例会
 9月6日から27日までの22日間の
 日程で開催されました。

補正予算 2億 1,193万円を増額!

「恋ぼたる」温泉 館休憩室・厨房設備を増設 ～「サザンクス筑後設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」は否決～

主な議案と質疑

●筑後市営駐車場条例の全部を改正する条例制定について
 (全員賛成 原案可決)
 筑後船小屋駅西側駐車場の管理運営に指定管理者制度を導入することに伴い、条例を改正するものです。

問 ループの市営駐車場は、従来からシルバー人材センターが管理している。市も補助金を出して支援する団体であるが、指定管理者制度導入となると、高齢者の仕事を取り上げることにならないか。シルバー人材センターへの委託についてはどう考えるのか。

答 ループの駐車場については、高齢者の雇用対策、生きがい対策の観点から従来どおり、直営でのシルバー人材センターへの委託をお願いする。

●今回、整備する筑後船小屋駅西側駐車場については、指定管理者制度を導入したいと考えている。

●サザンクス筑後設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
 (賛成0 原案否決)
 現に指定を受けている指定管理者が、引き続き指定を受けようとするときの規定を新たに設けるものです。

問 市では他にも指定管理者の制度で運営している施設があるが、なぜサザンクスだけ特別な規定を設けるのか。

答 今回の指定管理者は、平成6年に市が100%出資して設立した文化振興公社。平成18年に指定管理者制度となり、現在8年目である。この8年市民ミュージカルの立ち上げ、また22年度には総務大臣表彰を受けるなど、地域と一体となった文化

活動を行っている。この文化振興公社が継続して指定管理者となるのが適当であるとの考えから提案している。

問 特別な規定を作ってしまうと、元々の指定管理者選考のための作業は形だけのものになってしまわないか。サザンクスが頑張っていることは評価するが、優先的に選考するというのはいかがなものか。

答 継続するためには、指定管理者選考の公募の際と同じ書類を出してもらうことが前提である。指定管理者制度は公平な選考が望まれる



●筑後市一般会計補正予算
 (賛成16 原案可決)
 およそ2億1,193万円の増額となりました。歳出の主なもの、次のとおりです。

●「川の駅船小屋恋ぼたる温泉館」の利用客の要望に応えるため、休憩室の増築と食事の提供に伴う厨房の整備に係る工事関係費用8787万円。

問 60坪ほどの増築ということだが、これは県との調整なのか。また増築することで客が増えれば、今の駐車スペースで足りるのか。

答 増築部分の広さについては県との協議ではなく、近隣の温泉施設等を参考にした。駐車場が不足となれば喜ばしいことだが、公園内にあるので、公園の駐車場に対応したい。

問 この温泉館は当初プロジェクトチームを立ち上げて計画したはずだが、当初から不十分だったということなのか。

答 当時、できるだけ大きなものを作りたいの思いはあったが、県営公園の中に建築するという点で、県と協議する中で、面的にも制約があった。当時は、そういった制約の中で最大限実現できた施設と認識している。

●市民係窓口の混雑を防ぎ、利用者の受付順番が分かるようにするための窓口整理券発行機器購入費105万円。

問 機器を導入しなければならぬほど、混雑し必要に迫られているのか。

答 従来、窓口が混雑している時は、利用者が自分の順番や待ち時間が分からないという不安からカウンター沿いに立つて並んで待つ状況もあった。8月から試用しているが、苦情もなく経過している。銀行や郵便局でも利用され、円滑な窓口業務が行われている。

●街灯の更新にあたって街灯設置奨励補助金の要望が、LED照明の普及に伴い急激に増加したため、費用138万円。

問 LEDに代える場合、いくら補助があるのか。何灯分子算化しているのか。
 答 LEDは平均すると

●県の雇用創出基金の活用による起業支援型地域雇用創出事業として障害者就労指導者育成事業委託料327万円。
 ・県の保育所等整備事業費補助金を活用し、筑後二川保育園の30人定員増に伴う増築工事の一部助成3523万円など。

意見書案

「消費税の軽減税率適用を求める意見書」
 (賛成17 原案可決)
 意見書は、関係大臣あて送付しました。

人事案件1件(同意)

●人権擁護委員の推薦
 津留洋子(上北島)
 (敬称略)



市民課窓口風景